

2018年度 認定 NPO 法人キーパーソン21 事業計画

【キーパーソン21の活動目的】

ひとりでも多くの子どもたちに将来について考えるきっかけを持たせ、視野を広げ社会へ旅立つことへの自覚と自立心を促し、夢と勇気をもって、生き生きと自己実現へ向かってすすめる喜びを知ってもらうこと。

【2018年度目標】

2020年わくわくエンジンが当たり前の社会を実現するために！

2018年創造⇒2019年展開⇒2020年継続

「2018年の目標は、モデルをつくる！」です。

1. 「わくわくエンジン」を軸とするキーパーソン21の考えに共感する、子どもたちを取り巻く社会的関係者(親、教員、大学、塾、行政、企業、地域の学習支援などを運営する団体或いは個人)が、各地域での課題解決に向けて、展開しやすいように課題別の活動モデルをつくります！
2. キーパーソン21の考えや活動の社会的意義や価値、活動モデルを効果的に伝えるために、既存のコミュニケーションにとらわれることなく、新しい広報の手段にチャレンジし、広報モデルをつくります！
3. キーパーソン21の財産である会員力を最大化し、各地域でも活用、展開できるようにするモデルをつくります！
4. キーパーソン21の考えや活動を全国に展開しようとする各地域の会員や支部の皆さんが活動しやすくなるように、シンプルで継続性のある業務管理のモデルをつくります！

1. プログラム実施事業

方針：川崎本部における実施と全国各地域でのプログラム実施が互いを高め合い、どこにおいても質を維持し、よりよい形で子どもたちに提供できるようになることを目指す

- ① わくわくナビゲーターが各地域で安心してプログラムを実施できるよう、本部開催のプログラム実施後にナビゲーターの養成サポートを丁寧に行う。
- ② 全国において行われたプログラム実施前後の子どもの変容や効果を本部支部で共有する。
- ③ 全国のそれぞれの地域の課題の解決となるレポートをWEB掲載などで公開共有していく。

◆ 川崎本部によるプログラム実施

1-1 学校における実施

プログラム実施（小中高校生世代対象）

- 企業と学校と会員が連携して行う「企業の子ども応援プロジェクト」を東京都港区、渋谷区、川崎市内の小中学校約10校において実施する。(1校に数回実施の場合もあり)
プログラムは「おもしろい仕事人がやってくる」「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」「コミュニケーションゲーム」「かっこいい大人ニュース」を想定。
連携企業は、カシオ計算機株式会社、スカパーJSAT株式会社、株式会社WOWOW、NTTデ

ータシステム技術株式会社、株式会社エヌアセット、他。

- 日本コカ・コーラ株式会社との連携による「5by20 女子起業！わくわくプロジェクト」で、4校にプログラムを実施する。
- 会員と学校との連携により、川崎市内の定時制高校1校の生徒を対象に「個別アクションプログラム」を実施する。
- 教員とNPOの協働授業となるよう、教員の理解が深まるための事前事後「わくわく研修」を行う。
(対象校:川崎中学校、六本木中学校、渋谷本町中学校)

1-2 学校以外の場における実施

- ギャップジャパン株式会社との店舗における実施モデルの継続。

1-3 個人への実施

- 個人対応のプログラム Solo-solo を必要に応じて実施する。

◆ 全国各地域支部やパートナーによるプログラム実施

北海道、新潟、長野、北関東、静岡、関西などの地域支部。

「耳をすませば」「クリップアカデミー」「くさつ未来プロジェクト」などのパートナー。

2. プログラム開発

方針： 各地域の課題やニーズに合わせて既存のプログラムをモディファイし、全国の地域で普及しやすいモデルをつくる

1. 親(家庭・PTA):2017年度にトライした課題へのアプローチを引き続き行い、二年目としての発展バージョンモデルをつくる。(有明地区PTAとの連携)
2. 教員(学校):
 - ① 意思ある教員と連携し、教員自身のクラスや学校で行い、効果を測定し、教員自身ができるモデルをつくる。
9月15-16日開催の「未来の先生展」に、過去の首都圏の学校や沖縄の高校での取り組みを基に出展。
 - ② 教員の理解促進と、教員自身が生徒へ提供できるモデルをつくりにチャレンジする。
(2017年度 静岡県内で行った教員研修モデルを基に展開する)
3. 大学生(大学):社会へ旅立つ直前の大学生が、多様な社会人と出会い、自分を見つめ、自分と社会が繋がることで活躍する、主体的でイノベーティブな人づくりモデルを構築する。
 - ① キーパーソン21学生会員と共に、多様な大人と出会い、交流する機会をつくる「大人角」をチェーンアップし、全国各地で展開できる汎用性のあるものとする。
 - ② 大学との連携モデルをつくる。(専修大、清泉女子大、拓殖大、法政大など)
4. 人材育成(企業):イノベーティブで主体的な企業の人材育成モデル作りに取り組む。
 - 対象:ランスタッド、他。
5. まちづくり(行政):住民一人ひとりが主体的にまちづくりをするモデルをつくる。
 - 対象:滋賀県のNPOくさつ未来プロジェクトと共に湖南省、他に鳥取大山町、島根県江津市。
6. 生きづらさを抱える子ども(学習支援・居場所):貧困など生きづらさを抱える子どもが納得のいく進路選択をし、自立した人となるためのモデルをつくる。

- 「個別アクションプログラム」をモディファイすることで、経済的困難を抱える中学生や定時制高校の生徒たちが、進路決定にあたって具体的に獲得した気づきを言語化し、面接で堂々と話を展開できるように汎用性のあるプログラムにする。
- 対象:「なかはらわくわく学習会」、「こすわく」、定時制高校での取り組み、「沖縄子どもの居場所学生ボランティアセンター」、「生活クラブ千葉」、法政大学湯浅先生とのコラボなど。

7. 第三の大人(塾):塾に通う子どもたちの課題を解決するモデルをつくる。

- 対象:クリップアカデミーなどとの連携

3. 広報、コミュニケーション活動

方針: 全国のステークホルダーやこれまでキーパーソン 21 を知らない人へもアプローチできるようにマーケティングを強化し、既存のコミュニケーションの方法にとらわれることなく、新しいモデルづくりを検討しチャレンジする

3-1 イベント

- 説明会 8 回/年
- わくわく学生創出会議(春分の日。東京都市大学と共催)
- 総会イベント

3-2 WEB、SNS

- ホームページの改良、顧客管理システムと連動したメッセージの発信、ステークホルダー別アプローチにトライする。
- メルマガやブログの配信を継続する。
- 全国のステークホルダーに向けて、WEB 上でのわかりやすい実施モデルを提示する。

3-3 紙媒体

- 必要に応じたパンフレット、リーフレットを作成する。

3-4 講演、セミナー、研修

- 企業、行政、大学、教員、親、塾、福祉協議会など全国の子どもの成長に関わる方々を対象として実施する。

3-5 企業や自治体、大学、NPO、諸団体との連携のコミュニケーション

東京都港区、渋谷区、江東区、川崎市内の学校支援のみならず、全国へ向けた普及活動の仲間となっていたいただける皆様の理解促進のコミュニケーションを継続する。

- 協賛企業
カシオ計算機株式会社、ギャップジャパン株式会社、株式会社エヌアセット、株式会社ジェーシービー、株式会社 WOWOW、クアルコムジャパン株式会社、スカパー JSAT 株式会社、NKK シームレス鋼管株式会社、他
- 法人会員
株式会社アルバイトタイムス、東京 JAPAN 税理士法人、株式会社カヤバ、富士通株式会社、株式会社言語生活サポートセンター、株式会社 SUBARU、カシオ計算機株式会社、パルテノンジャパン株式会社、株式会社クリップアカデミー、特定非営利活動法人耳をすませば、特定非営利活動法人くさつ未来プロジェクト、他
- 全国普及に向けたご寄付や協働プロジェクトの推進パートナーとして
ギャップジャパン株式会社、クアルコムジャパン株式会社、日本コカ・コーラ株式会社、他
- 大学、行政、NPO、など諸団体

湖南省、大山町、江津市、国立大学法人金沢大学、生活クラブ生活協同組合(千葉)、子どもの居場所学生ボランティアセンター(沖縄)

4. わくわくナビゲーターの養成

方針： わくわくナビゲーター養成講座を開講する

普及を主目的として一般向けにわくわくナビゲーター養成講座を開催する。併せて、講座の組み立ての再構築を検討する。

- ① すきなものビンゴ&お仕事マップ:3回
 - ② すきなものビンゴ&お仕事マップ引き出しトレーニング:2回
 - ③ コミュニケーションゲーム:3回
 - ④ 個別アクションプログラム:4回
 - ⑤ 個別アクションプログラム引き出しトレーニング 2回
- 企業協賛による実施前に、参加社員に事前研修を行う。8社10回程度開催(予定)。
 - ☆ すきなものビンゴ&お仕事マップ、コミュニケーションゲーム
 - NTT データシステム技術株式会社、カシオ計算機株式会社、株式会社エヌアセット、株式会社 WOWOW、株式会社ジェーシービー、ギャップジャパン株式会社、クアルコムジャパン株式会社、スカパーJSAT 株式会社、他
 - 支部／パートナーへの出張講座開催

5. 大学への支援事業

自分を活かして社会へ旅立つことを応援したい大学からの要望に応える。

- 拓殖大学商学部、法学部の全1年生約1,400名へプログラムを実施する。
- 清泉女子大学、専修大学、法政大学、明治大学(検討中)

6. 地域活動支援事業

方針： 多様な活動主体による「キャリア教育」提供への支援を行う

6-1 パートナー連携

各地域の課題を解決しようとする団体へ、パートナー提携に基づきノウハウ提供や、多様な活動主体がプログラムを円滑に活用することができるよう支援する

パートナー

- 塾・大学・私立学校・行政・PTA・経済的困難など様々な生きづらさを抱える子どもへの学習支援や居場所作りをしているNPOや団体、他。

6-2 支部連携

各地域の課題を解決しようとする会員が、個人会員の集合体として主体的に活動する支部活動を、講演などによる広報、わくわくナビゲーターの養成、地域の子どもの成長に関わる諸団体とのネットワーキング、などにより応援する

支部候補 ・北海道・新潟・長野・北関東・山梨・北関東・関西・東京・静岡、他

7. 社会参加支援事業

方針： 地域が抱える課題解決に取り組む行政などとの連携による「キャリア教育」支援を行う

◆ 川崎市における地域支援

- 川崎市と連携して、生活保護受給世帯の家庭で育つ中学生へ「学習支援・居場所づくり」事業を通年実施する。
(通称:なかわく)(川崎市委託事業)
2017年度より、2カ所に拡大
 - ◇ 対象:生活保護受給家庭で育つ中学 1～3 年生
 - ◇ 回数:88 回 × 2 カ所
 - ◇ 内容:基礎学習、進路選択のための「個別アクションプログラム」
 - ◇ 場所:川崎市中原区内 2 カ所(向河原と新城)
- 経済的困難を抱える家庭で育つ中学高校生へ「学習支援・居場所づくり」事業を継続開室する。
(通称:こすわく)(自主事業)
 - ◇ 対象:川崎市内の経済的困難を抱えている家庭で育つ中高生
 - ◇ 回数:月曜日 30 回、水曜日 44 回予定
 - ◇ 内容:英会話レッスン(NKK シームレス鋼管株式会社による支援)
基礎学習、進路選択のための「個別アクションプログラム」を状況に応じて実施
 - ◇ 場所:川崎市中原区内
- 地域の小学校における寺子屋を開室する。行政、学校、地域と NPO が連携して行う。
(通称:てらこや)(川崎市委託事業)
 - ◇ 対象:川崎市今井小学校の児童(水曜)、児童と保護者、および地域の皆様(土曜)
 - ◇ 回数:水曜日学習 26 回(基礎学習 13 回、グローバルダイバーシティプログラム 13 回)
土曜日体験学習 6 回
 - ◇ 場所:川崎市立今井小学校内

8. 企業との連携

方針： キャリア教育支援や子どもを応援する企業の CSR 活動と連携し、アドバイスやコンサルティング協力を行う

- 株式会社博報堂 H-CAMP

9. 会員活動の充実と促進

方針： 会員力を最大化するため、会員のもつ知見や発想を最大限に活かし主体的に活動を行うことができるよう、また、全国の地域活動モデルとなるような形を構築していく

AKP 活動

- ① **ファンドチーム：** 寄付などにより、資金を集める
- ② **会員満足度向上チーム：** 会員報「WAKU のうち弁当」を年に 3 回発行する
- ③ **イベントチーム：** 総会イベント、わくわく学生創出会議、説明会を開催運営する
- ④ **劇団：** わくわくエンジンの考えや活動をベースにした演劇を行う
- ⑤ **IT 情報チーム：** 組織の管理体制整備のためにセールスフォースを活用のためのシステムを構築、運用サポートを行う

- ⑥ **効果測定チーム**：事業の効果を測定する
- ⑦ **大学生応援チーム**：大学生会員が納得のいく選択をして社会へ旅立てるようサポートする
- ⑧ **教員チーム**：教員がわくわくエンジンの観点から児童・生徒をサポートする方法の学びの場をつくり、全国に展開できるモデルを構築する
- ⑨ **人事部チーム**：活動内容については検討中
- ⑩ **広報プロモーションチーム**：キーパーソン21の活動を知ってもらう活動をする
- ⑪ **チャリティカレッジチーム**：会員がもっている得意やスキルを活かした学びの場をつくる



2018年度 活動予算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人キーパーソン21

科 目	予 算 案	備 考
I 経常収益		
1. 会費（個人・団体）	A 3,000,000	法人、個人、学生
2. 寄付・賛助金	B 1,400,000	寄付
3. 事業収入		
① 小中高校生に対するキャリアプログラムの実施事業		
実施校謝礼	C10 580,000	中学校、高等学校、行政(教員研修)
企業連携による実施	C20 9,830,000	企業協賛
行政委託	0	東京都
親子&個人実施	150,000	親子、solo-solo
② キャリアプログラムの普及啓発事業		
学校参加研修	2,600,000	わくナビ養成、
講演・イベント	1,150,000	講演、イベント
地域支援	5,110,000	支部連携、金沢大学 パートナー、拓殖大学など
③ 社会参加支援事業		
なかわく	8,051,000	川崎市健康福祉局自立支援室
寺子屋	996,000	川崎市教育委員会、企業寄附
こすわく	1,030,000	川崎市子ども未来局、企業寄附
かなわく		神奈川県
④ その他目的達成のために必要な事業		
H-CAMP	1,000,000	博報堂
4. 雑収入	0	受取利息、他
29年度経常収益計 (A)	34,897,000	

科 目	予算案	備 考
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 給与、謝金	20,200,000	給与、運営担当者、協力者謝金
人件費計	20,200,000	
(2) その他経費		
会議費	800,000	会場費、茶菓
旅費交通費	3,500,000	スタッフ出張費
広報費	2,000,000	ホームページリニューアル他
通信費	800,000	電話、切手、インターネット、宅配
事務・消耗品	950,000	事務用品、インク、コピー、消耗品他
水道光熱費	40,000	電気、水道(こすわく)
保険料	24,440	学習支援児童保険
リース料	150,000	プリンター
家賃	1,120,000	家賃(こすわく)、更新料、火災保険
手数料	280,000	
委託費	200,000	
雑費	20,000	
その他経費計	9,884,440	
事業費 計	30,084,440	
2 管理費		
(1) 給与、謝金、法定福利等	5,050,000	経理、会員管理、庶務、社会保険
人件費計	5,050,000	
(2) その他経費		
会議費	200,000	事務局、会場、茶菓
旅費交通費	600,000	事務局通勤費
広告宣伝費	900,000	リーフレット印刷
通信費	200,000	デンワ、 ^{キッテ} 電話、切手、インターネット、 ^{タハイ} 宅配
事務・消耗品費	300,000	事務用品、インク、コピー、消耗品他
家賃	66,000	家賃(かわさき市民活動センター)
諸会費	50,000	川崎商工会議所、
公租公課	8,000	印紙
リース料	60,000	プリンター
手数料	60,000	
雑費	50,000	慶弔、お土産、他
その他経費計	2,494,000	
管理費 計	7,544,000	
経常費用 計 (B)	37,628,440	
税引前当期正味財産増減額(C) = (A) - (B)	△ 2,731,440	
法人税、住民税、事業税 (D)		
当期正味財産増減額 (E) = (C) - (D)	△ 2,731,440	(2018単年度)
前期繰越正味財産額 (F)	28,345,220	
次期繰越正味財産額 (E) + (F)	25,613,780	